

# 日本ゼオン 会社説明

上場市場 : 東証プライム  
証券コード : 4205



2025年11月26日

1. 日本ゼオンって、何の会社？
2. 日本ゼオンの強みと成長戦略
3. 徳山工場をめぐる話題
4. 日本ゼオンの株価と株主還元

1. 日本ゼオンって、何の会社？

## 自動車

- 自動車部品 ■ タイヤ
- リチウムイオン電池 など

## 家庭

- テレビ ■ 香料
- スマートフォン など



## 医療・ライフサイエンス

- シリンジ・輸液バッグ
- 医療器材 など

## 産業

- 半導体 ■ 産業機械
- など

## 企業理念 大地の永遠と人類の繁栄に貢献する

### 【社名の由来】

「ゼオ」(Geo)はギリシャ語で大地、「エオン」(Eon)は永遠を意味し、その合成語である「ゼオン」には、「大地から原料を得て永遠に栄える」という意味が込められています。

創立

1950年

創業75周年

グループ企業

18カ国地域

53社

(2025年 3月末)

従業員数

連結

4,493名

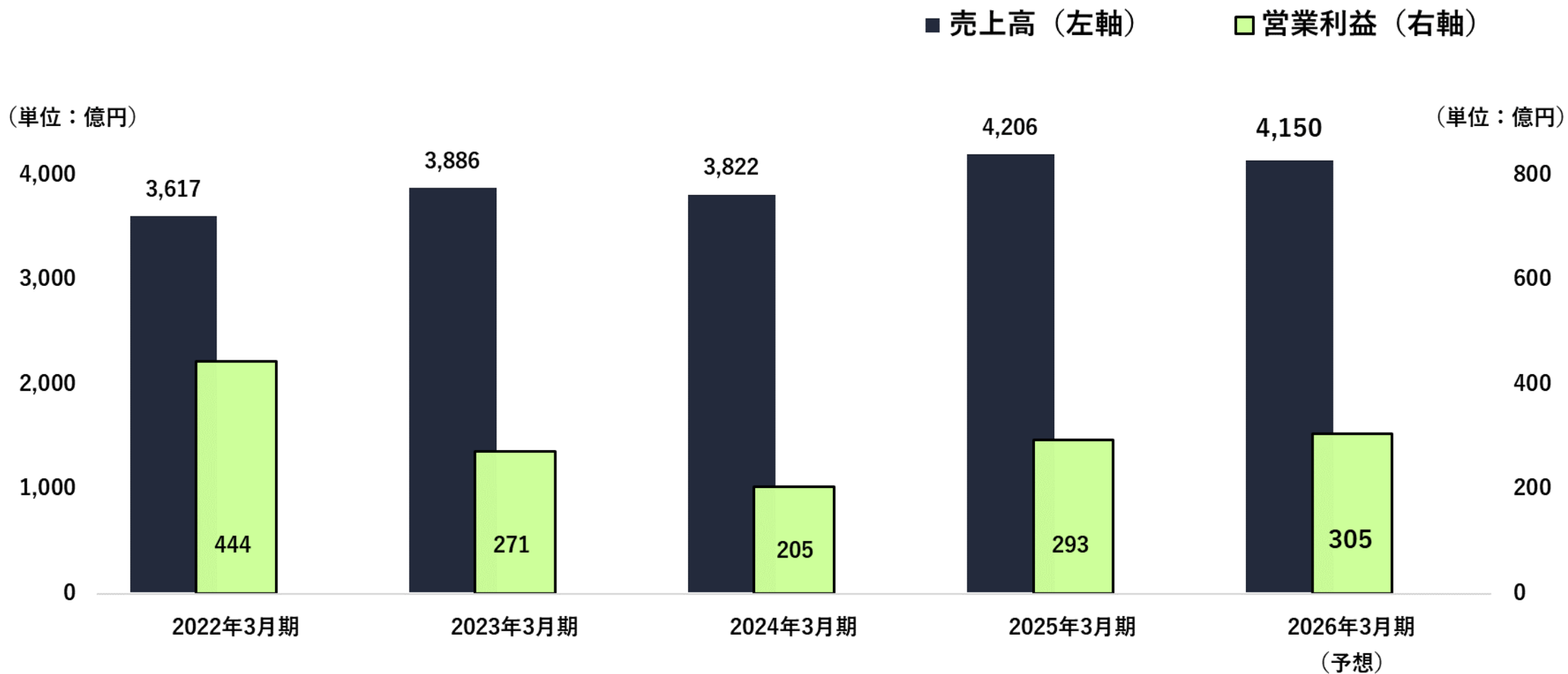
(2025年 3月末)

売上高

4,206億円

(2024年度)





## エラストマー素材事業

合成ゴム、ラテックス、化成品の3分野で構成。1959年に日本で初めて合成ゴムの量産化に成功して以来、自動車産業の発展に大きく貢献してきた。

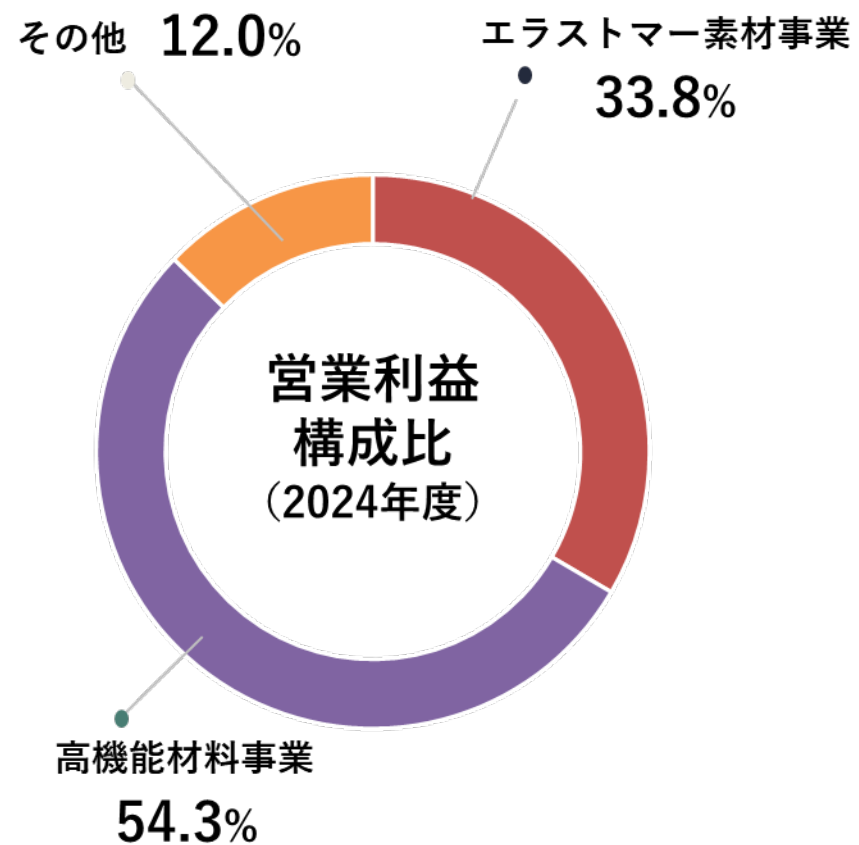
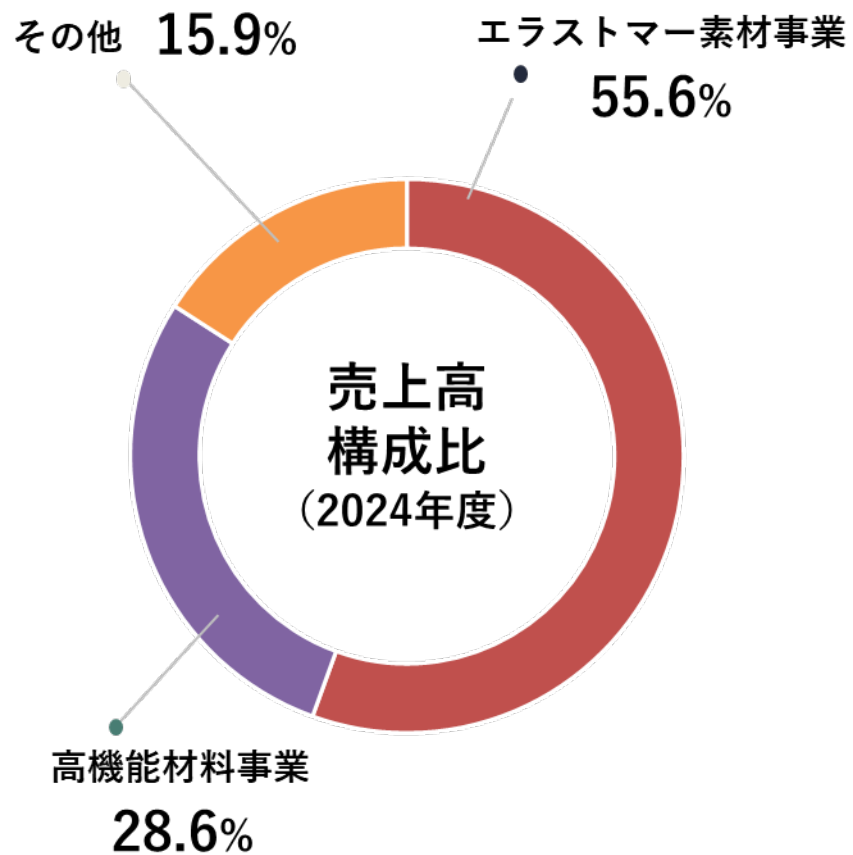
## 高機能材料事業

独創的な要素技術によって生み出された高付加価値を有する材料・部材を提供。現在のゼオンの成長を支える原動力となっている。

## その他事業

エンジニアリング、包装材料、建材、消臭剤、RIM配合液、単層カーボンナノチューブ、塗料、商事など。





(消去または全社を含まない)

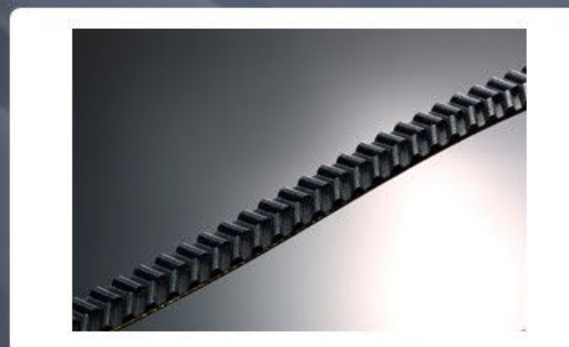
## 規模的成長・資本効率性を測定する目標値を設定

	財務目標	実績	目標	目標
		2024年度	2026年度	2028年度
	売上高	4,206億円	4,500億円	4,500億円
	営業利益	293億円	380億円	420億円
	ROE	7.3%	10%	8.4%
規模的成長	EBITDA	488億円	600億円	800億円
資本効率性	ROIC	6.2%	6.9%	7.0%

## 2. 日本ゼオンの強みと成長戦略

会社基盤を支える事業

## エラストマー素材事業



- 合成ゴム
- 合成ラテックス
- 化成品（石油樹脂、熱可塑性ゴム）

# 日本ゼオンは世界有数の合成ゴムメーカーです

昭和34年(1959年)、わが国で初めて合成ゴムの国産化に成功。

以来、ゼオンは合成ゴム業界をけん引する企業として、世界の自動車業界の発展を支えてきました。



## おもなラインナップ

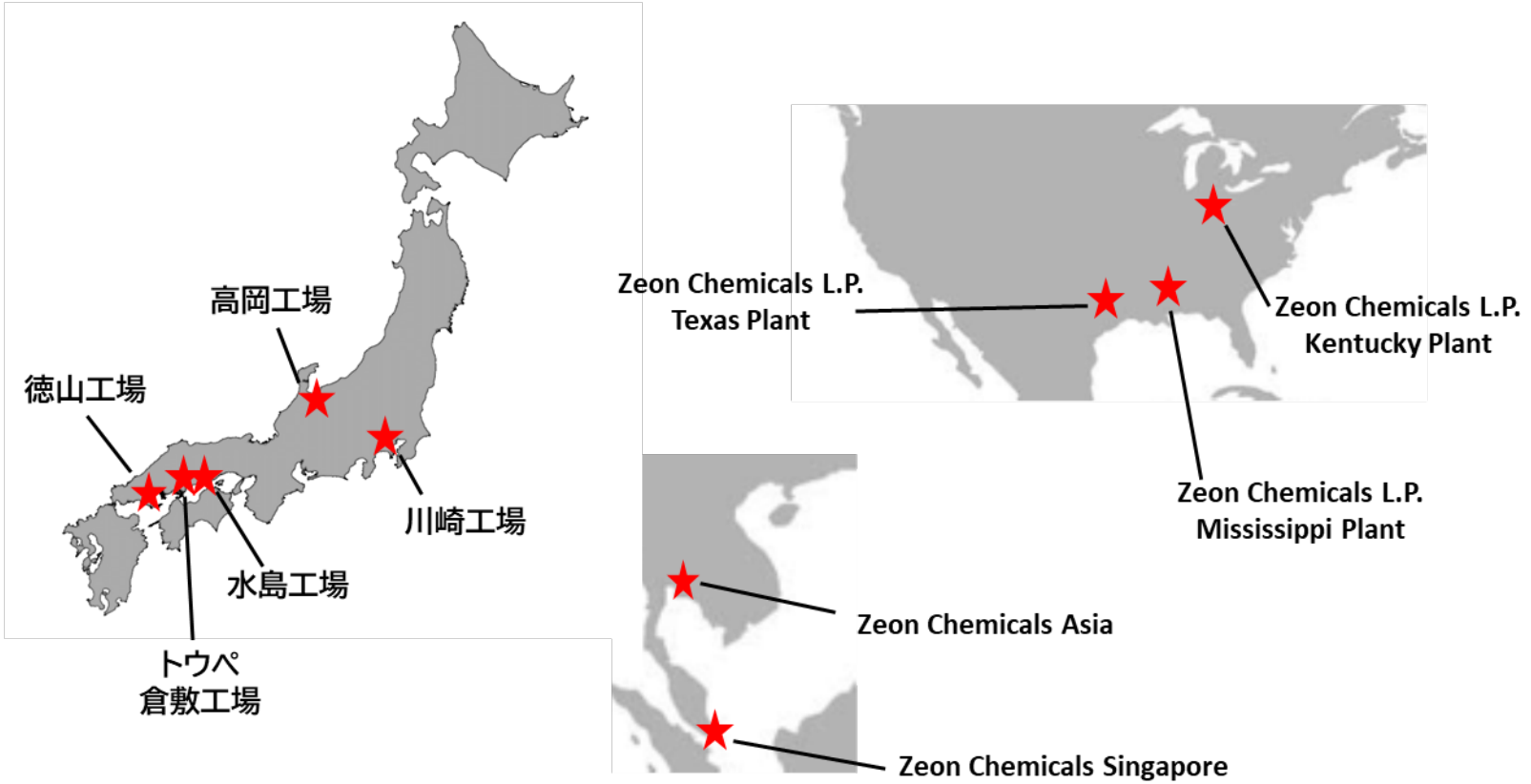
### 汎用ゴム

- 乳化重合スチレンブタジエンゴム (ESBR)
- 溶液重合スチレンブタジエンゴム (SSBR)
- ブタジエンゴム (BR)
- イソプレンゴム (IR)

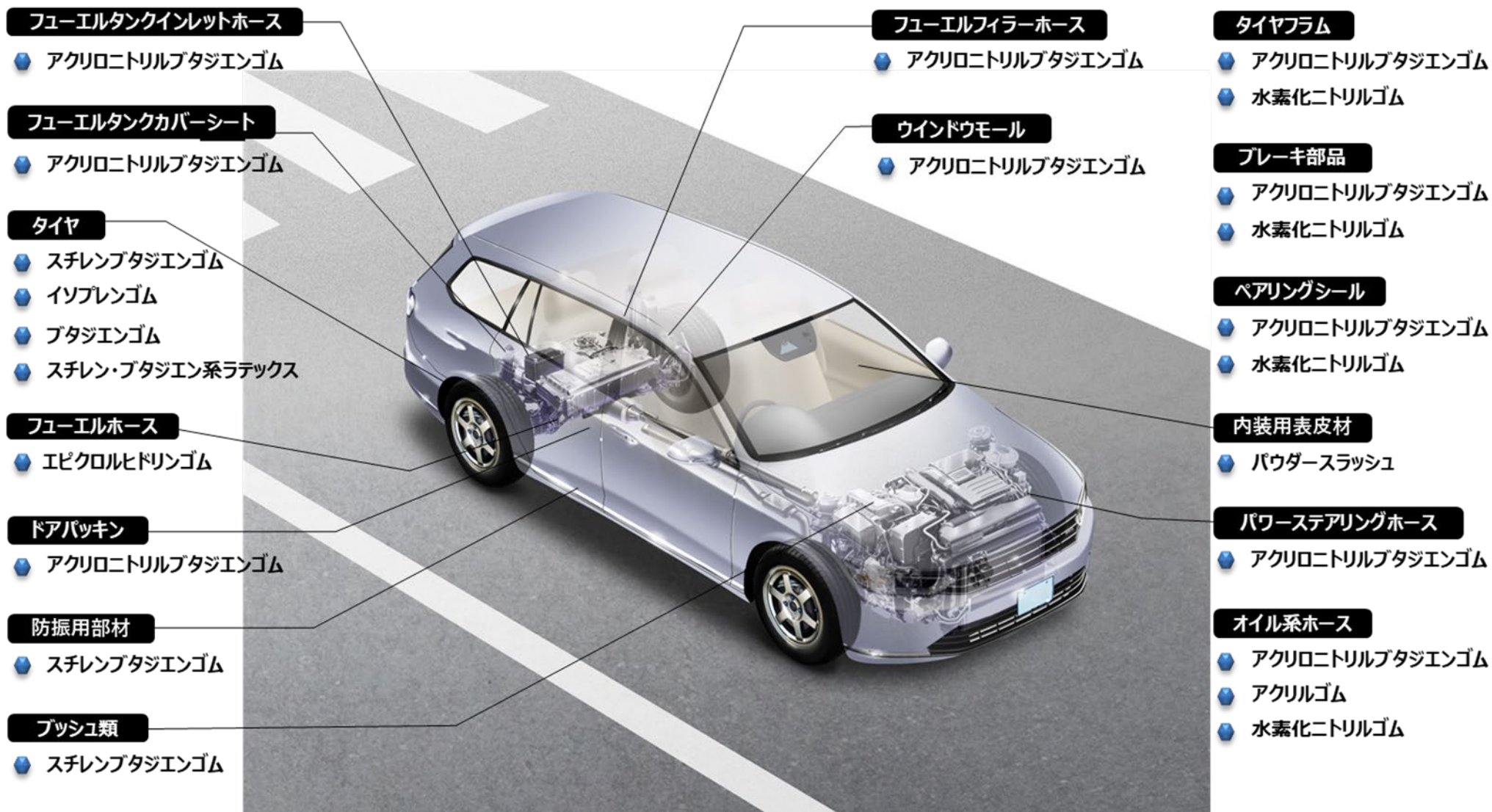
### 特殊ゴム

- アクリロニトリルブタジエンゴム (NBR)
- 水素化ニトリルゴム (HNBR)
- アクリルゴム (ACM)
- エピクロルヒドリンゴム (ECO)

## 合成ゴムの製造拠点



## ゼオンは特殊合成ゴムの世界トップメーカーとして、自動車産業の発展に貢献しています



高付加価値品を展開する事業

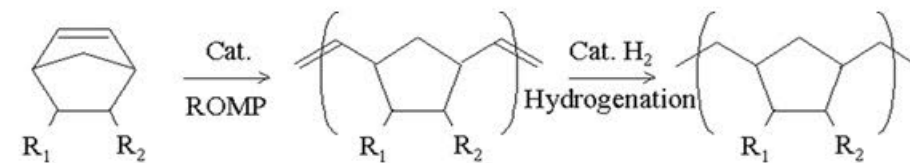
高機能材料事業



- シクロオレフィンポリマー（高機能プラスチック）
- 光学フィルム
- リチウムイオン電池用バインダー

- 化学品（合成香料、特殊化学品）
- 電子材料（エッチングガス、レジスト 等）
- 重合法トナー
- 医療器材

シクロオレフィンポリマー(以下、「COP」と記載)は、日本ゼオンが独自で開発した高機能プラスチックです。ユニークな特長を有し、光学や医療、半導体などの分野に欠かせない素材です。



ROMP: Ring Opening Metathesis Polymerization

## COP事業のビジネスモデル



顧客

さまざまな用途に展開

レンズ

シリンジ

半導体容器

顧客

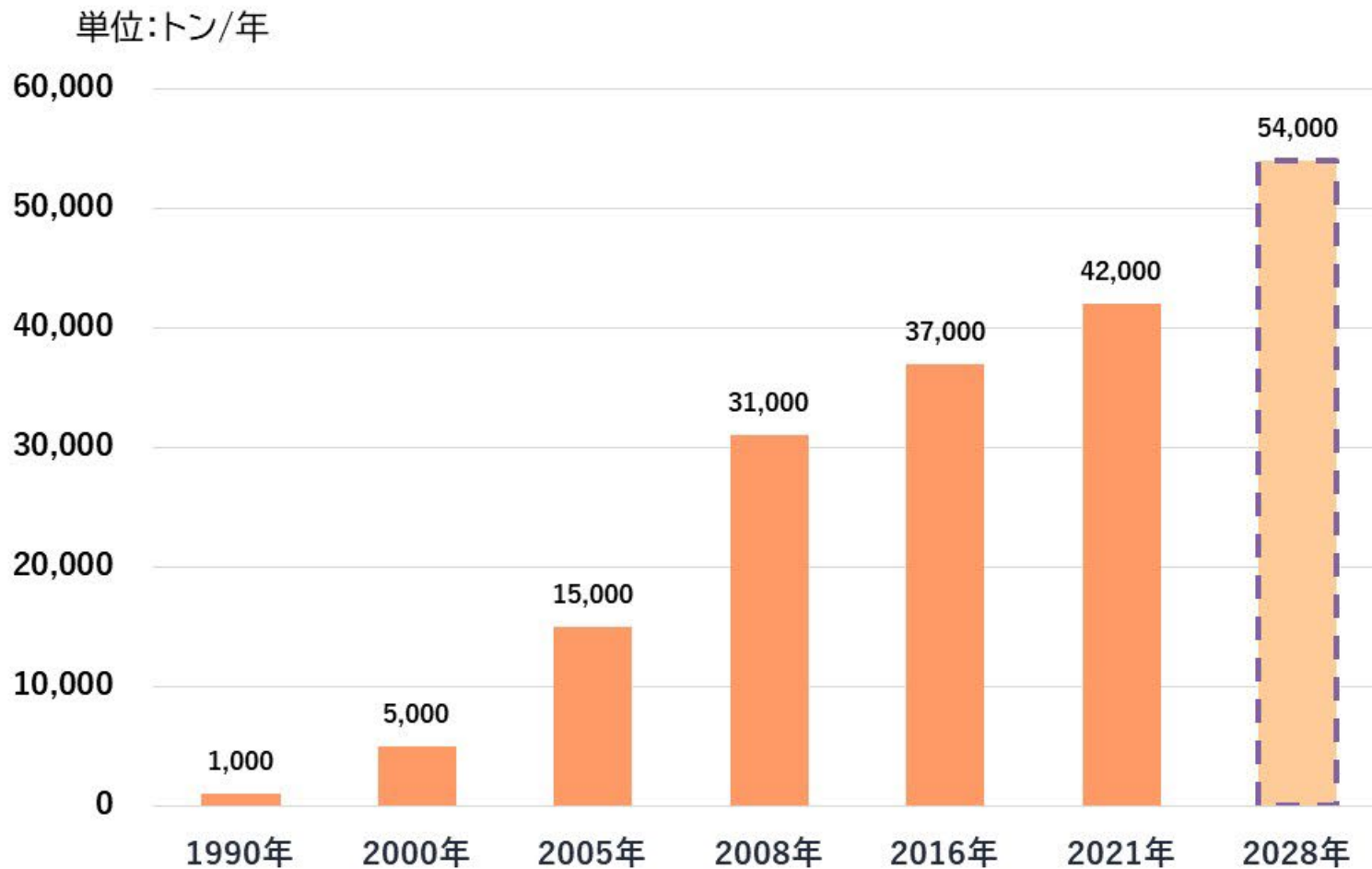
大型ディスプレイ

スマートフォン、タブレット端末

事業開始から38年で  
約54倍の生産能力拡大



水島工場

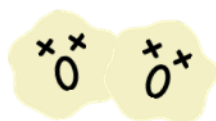


## 医療業界の現状

タンパク質を含む  
バイオ医薬品の市場が拡大



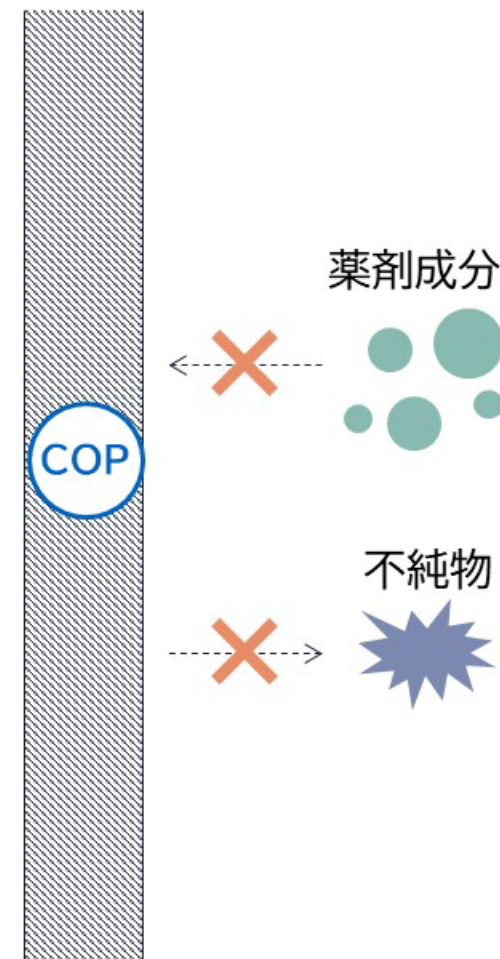
ガラスはタンパク質が  
吸着しやすいため、医薬品を  
扱う上でデメリットがある



## 医療用途におけるCOPのメリット

- ① タンパク質が吸着しにくい
- ② 不純物が極めて少ない

バイオ医薬品市場の拡大によって、  
COPの着実な成長が期待されています。



## 半導体用途とは？・・・半導体製造工程で、ウェハーを汚染や損傷から守る容器の素材

	従来素材（ポリカーボネート）	COP
特徴	アウトガス（水や有機溶剤など）を発生させる	不純物が少なく、アウトガスが発生しない
ウェハーへの影響	<p>回路の線幅が微細になるほど、欠陥が発生しやすい</p>	<p>クリーンな環境を保持 → ウェハーへの汚染リスクを低減</p>

半導体の微細化とともに、COPの需要が拡大しています。

## COPフィルムの役割

正面からの画像



COPフィルム



斜めから見ると  
不鮮明



斜めから見て  
も鮮明

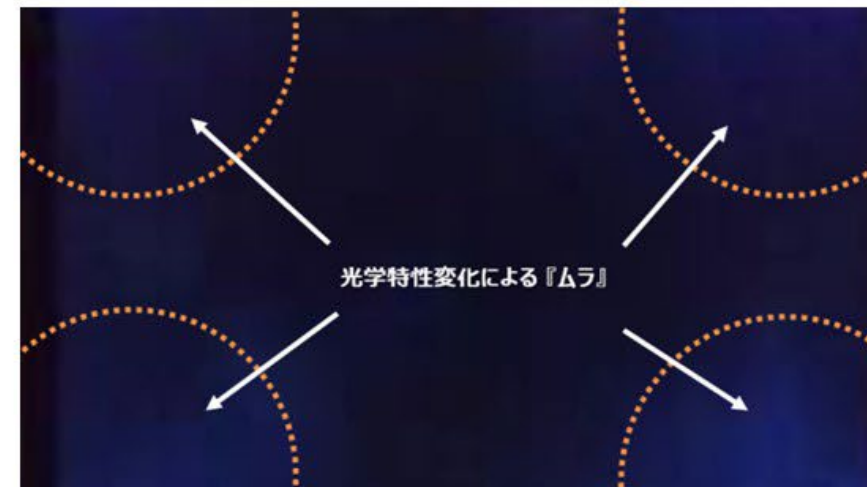
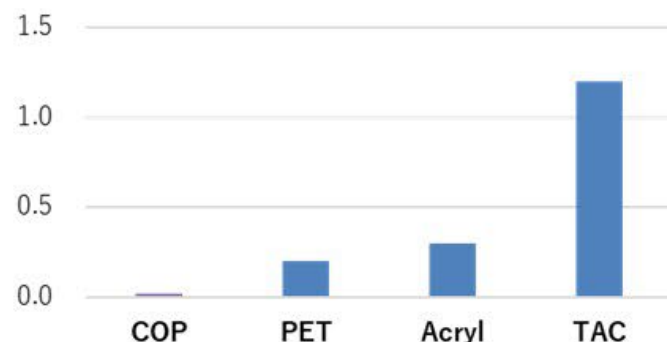
## ディスプレイ用途におけるCOPフィルムのメリット

- ・ 吸水性が極めて低い

従来素材(TAC)は、空気中の水分を吸収するため、寸法安定性が損なわれ、「ムラ」が発生します。

### 吸水率比較

吸水率(%)



出典: 当社撮影

COPは吸水性が極めて低いため、「ムラ」が発生しません。

画面サイズが大きいほど、寸法安定性の影響を受けやすく、COPフィルムが優位性を発揮

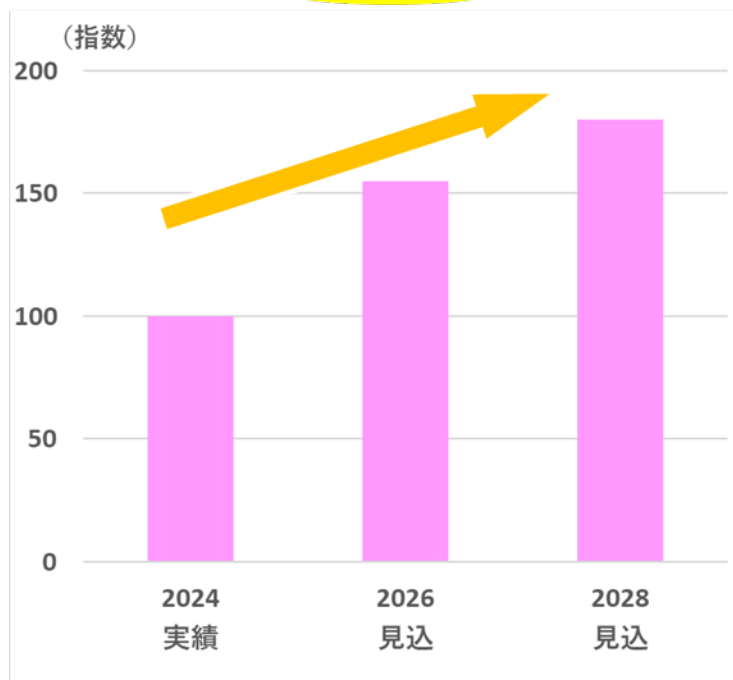


近年の画面サイズの大型化にともなって、COPフィルムの需要が拡大しています。

COPの医療用途、半導体用途、COPフィルムの大型ディスプレイ用途を「成長ドライバー」として、将来にわたり、高水準な成長を見込んでいます。

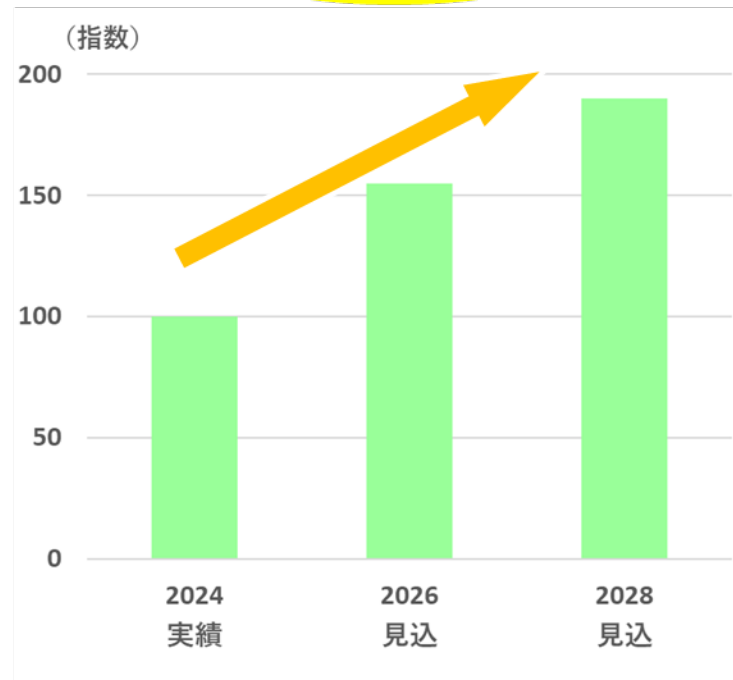
## 医療用途

売上高CAGR  
18%



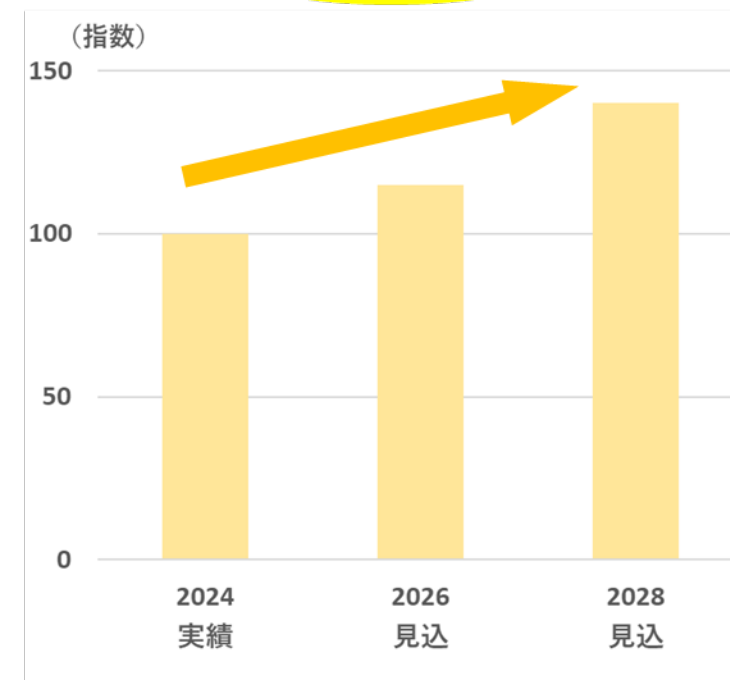
## 半導体用途

売上高CAGR  
17%



## 大型ディスプレイ用途

売上高CAGR  
9%



# 3. 徳山工場をめぐる話題

## 低収益製品からの撤退

下記の製品は、2026年に生産停止へ。

- ・タイヤ用汎用合成ゴムの一部
- ・使い捨て手袋用ラテックス



タイヤ用合成ゴム



手袋用ラテックス



## 高収益製品の更なる強化

COPの新工場を2028年、徳山地区に建設

需要拡大が続き、水島工場(岡山県倉敷市)の生産能力を確実にオーバーする見通し

それでは、なぜ、徳山地区か？



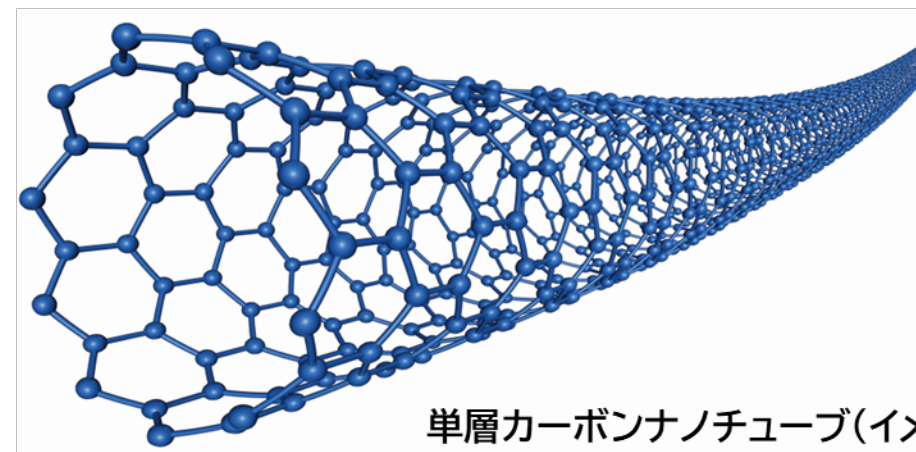
- ・水島工場は既に能力増強の余地がない。
- ・水島工場との往来の容易な距離(200km)
- ・直下型地震発生時に同時被災を免れられる距離(BCP対応に最適)



敷地面積：約186,500m<sup>2</sup>  
生産能力：約12,000t/年  
着工時期：25年度下期  
竣工時期：28年度上期  
投資金額：約780億円

出典：国土地理院撮影の空中写真を当社にて加工

カーボンナノチューブ(以下、CNT)は、1991年、飯島澄男博士により発見されました。なかでも、単層CNTは、「軽量かつ高強度」「電気や熱の伝導性が極めて高い」という特長を活かし、蓄電分野、半導体分野を中心に用途開発が進んでいます。



単層カーボンナノチューブ(イメージ図)



2015年、日本ゼオンは徳山工場にてスーパーグロース法による世界初の量産プラントを稼働開始させました。



2025年 5月、Sino Applied Technology Co., Ltd.(SiAT社)に資本参加。取締役も派遣。

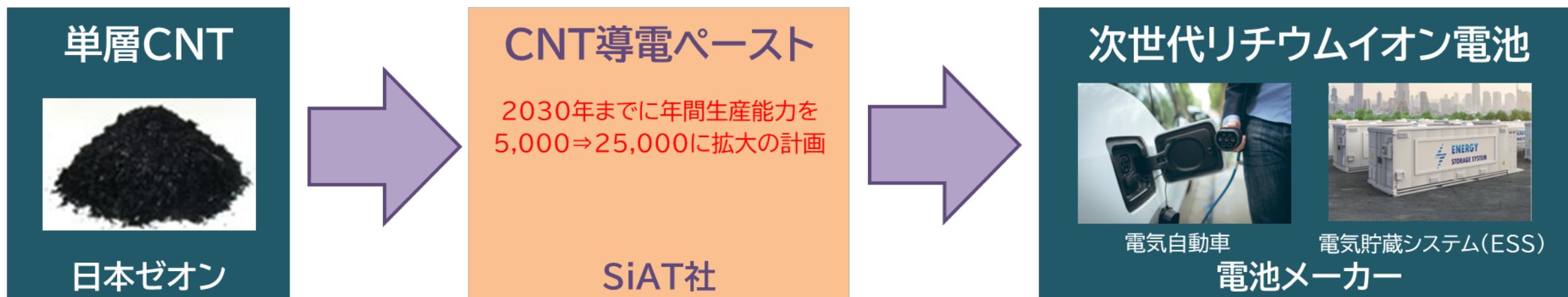
SiAT社：CNT導電ペースト(次世代リチウムイオン電池の重要部材)などを製造・販売

## CNT導電ペーストとは？

リチウムイオン電池に少量添加することで、エネルギー出力とサイクル寿命の向上に寄与。

シリコン負極や高容量・高出力性能が求められる次世代リチウムイオン電池への活用に期待が高まる。

垂直統合モデルを確立



# 4. 日本ゼオンの株価と株主還元

# 株価の動き(2025年)



## 株主還元方針

■ DOE(株主資本配当率)4%以上

■ 自己株式取得計画

2025年度 100億円(決定)

2026年度 100億円(見込)

## 年間配当の推移



配当利回りは4.32%(2025年11月17日終値ベース)

ご清聴、ありがとうございました。

- 稼働開始            1965年8月
- 従業員数            399名(2025年4月1日現在)
- 敷地面積            243,750m<sup>2</sup>
- 主要製品
  - ・ ブタジエンモノマー
  - ・ 合成ゴム
    - 乳化重合法スチレンブタジエンゴム
    - 溶液重合法スチレンブタジエンゴム
    - ポリブタジエンゴム
    - アクリロニトリルブタジエンゴム
  - ・ 合成ラテックス
    - アクリロニトリルブタジエンラテックス
    - ポリブタジエンラテックス
  - ・ 重合法トナー
  - ・ 単層カーボンナノチューブ

